

# 営農ウィークリーNEWS

## ジャンボタニシ被害を防ごう!



1980年代に食用目的で日本に導入されたスクミリングガイ(通称ジャンボタニシ)は野生化し、基本的に柔らかい葉を好んで食べ、移植直後のイネで食害による欠株の被害が発生します。

被害状況の特徴ですが、田植え後20日までのイネが柔らかい時期に集中しており、水温が高くなるほどに活動が活発になり被害が増加します。また深水になる田面の低い箇所やマクラ周辺に被害が目立ち、大型になるほど食害量は大きくなります。

### 被害を防ぐ3つのポイント!!!



- ① 広げない (越冬個体を少なく)
- ② 入れない (圃場への侵入を防ぐ)

- ◆冬期の耕うんでは、トラクターの速度はゆっくり、ロータリーの回転は速めで物理的に貝を破壊する。(越冬個体は約8割が地表6cm以内に分布する)
- ◆未発生圃場への貝の持込を防止するため、農機を移動する際は泥を洗い落とす。
- ◆取水口・排水口に9mm目合い程度のネットや金網を設置し越冬個体等を本田に侵入させない。



食害による欠株



ジャンボタニシの成貝



産み付けられた卵

### ③ 食べさせない (本田中の対策)

- ◆水深の管理がとても大切です! ジャンボタニシは水中でないと摂食できません。また、水深が浅いと活動が制限されるため水深4cm以下の浅水管理を行ってください。近年増加しているゲリラ豪雨などによる急激な増水には特に注意が必要です。(5葉期以降は食害されにくいので、移植後3週間程度を目安に浅水管理を行ってください)
- ◆圃場内・水路にトラップを設置し貝を捕獲したり、濃いピンク色をした卵は水中に落とし、黒~白っぽい卵は木片などで押しつぶしてください。
- ◆一旦発生してしまうと、すべてを駆除することは非常に困難で、毎年被害が発生する可能性が高くなるので、農薬による防除をおすすめします。

### TAC information

ジャンボタニシ防除  
おすすめ薬剤紹介!

## 『スクミノン粒剤』



#### ■適用害虫と使用方法(2021年12月8日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタアルデヒドを含む農薬の総使用回数
稲	スクミリングガイ	1~4kg/10a	収穫 60 日前まで	2 回以内	散布又は無人航空機による散布	2 回以内
れんこん		4kg/10a	収穫 45 日前まで			

※農薬の使用前には、必ずラベル等で登録内容の確認を行ってください。

まだ、2022年産の作付けに、間に合います!!!  
種まきは、5月連休明けぐらいでも全然大丈夫!!!



# 京おくら

## 一緒に作りましょう!!!

「京おくら」の生産者を



# 大募集

しています!

ぜひ、一緒に「京おくら」を盛り上げましょう!



JA では、京おくら生産者を大募集しています！  
オクラは、栽培が比較的容易で、初期投資も少なく  
栽培初心者でも、取り組みやすい品目です。  
栽培面積は2a程度でも十分出荷できます！  
ぜひ、一緒に京おくらを盛り上げましょう！  
興味がある方は、各経済センターまたは本店経済部  
まで！お問い合わせください！

※栽培を希望される場合は、お気軽に各地域の経済部エリア担当者や  
営農販売課までお問い合わせください。

◆連絡先（電話番号）：経済部営農販売課 ・075 - 955 - 8575  
北部経済センター ・075 - 711 - 3051  
西南部経済センター ・075 - 932 - 0003